

めし たまには、みんなでご飯を食べよう。



ホーム

ブログ

こども食堂

フードバンク

入浴活動

学習支援

団体紹介

過去の活動

支援・サポート相談

寄附・ボランティア相談



<https://www.tamameshi.org>

私たちの思い

「解決しないこと」がたくさんあることを認識しつつ、子どもたちの暮らしに寄り添う。

子どもたちと親や先生以外の大人たちとの関係(斜めの関係)を結んでいく。

「支援する場(解決を目指す場)ではなく、課題に向き合い、**関わり続けるための場**」としてこの活動を続けています。

子どもたちの暮らしの課題に向き合う中で、いろいろな「たまには・・・」が生まれています。

みんなで

たまには めしでも☆

たまめし

食堂

2016.7～

質素であっても心を込めて作った食事の提供を通して、 お腹も心も温まる、心地よい居場所をつくりたい。

たまめし食堂は、毎月1回、みんなで作って、みんなで食べることを大切に開催してきたこども食堂です。来てほしいと思う子どもたちは、スタッフが車で送迎していました。たくさんの寄付やボランティアさんたちの協力を得て、手作りの温かい食事と、安心して過ごす時間を作ってきました。



今回のメニュー

- ・パスタ(加ボナラ、ミートソース、醤油きのこ)
- ・野菜スープ
- ・じゃこ、ピーマン炒め
- ・にんじんしんしり(レーズン)
- ・佐藤さんのクッキー
- ・吉田さんのシフォンケーキ
- ・柿・りんご



今回いただいたもの

今回もたくさんの寄付をいただきましたので、紹介させていただきます。あたたかいご支援、誠にありがとうございます。ご寄付いただいたもののうち、当日使用しなかったものについては、参加してくれた方にお持ち帰りいただきました。

◆食材の寄付 … お米、りんご、ひき肉、長ネギ、玉ねぎ、大根、にんじん、じゃがいも、さつまいも、保存食、飲み物、お菓子 ほか
太田屋さん、玉川さん、中丸さん、佐藤さん、吉田さん
大和市社会福祉協議会さん、セカンドハーベストジャパンさん

◆資金の寄付
雑貨 大和市社会福祉協議会さん

◆資金の寄付
庵さん、どものこどもクリニックさん



今回いただいた寄付の食材や物品



今月のボランティアさんたちと子どもたち

こどもも大人もパスタ大好き。カルボナーラ、ミートソース、醤油きのこの3種類のパスタを作りました。にんじんしんしりもじゃこの炒め物も大好評。吉田さんのシフォンケーキは、いつも美味しく、すぐに売り切れ。柿もりんごも、子どもたちに大人気です。お腹一杯いただきました。

みんなで

2018.11～

たまには ふろにも☆

たまふる

体や頭をきちんと洗う習慣を身に付けていることを大切に考え、毎月1回、こどもたちと一緒に公衆浴場に行く活動です。



みんなで入るお風呂は楽しい!

私たちは、ご飯を食べることと同じくらい、

体や頭をきちんと洗う習慣を子どもたちが身に付けていることを大切に考えています。

普段の暮らしの場面では、やんちゃなお兄ちゃんも、

お風呂に入ると、小さなこどもたちの背中を洗い、

失くした靴箱の札を一緒に探してくれます。

大人は、一緒に体を洗って、一緒に熱いお湯につかる。

子どもたちの様子を見守るだけです。

未就学児、小学生、中学生と年代も様々ですが、

にぎやかに月に1度のお風呂を楽しみにしています。



みんなで手をつないで。



たまには たく配



2020.5～

新型コロナの拡大による緊急事態が宣言され、「みんなで作って、みんなで食べる」ことができなくなりました。私たちには、「たまめし」の子どもたちを送迎し、物資を届けてきた経験がある。ならば、「お弁当を作って届けよう」。「たまには宅配もいいだろう。」と、「たまめし」から「たまたく」へ移行しました。

6月 豚肉と野菜のケチャップ炒めの会

ボランティア等 22名
49世帯 111食

6月に入って、真夏到来の暑さ。仕分け組は、首にタオルを巻いて汗をかきながらの作業となりました。お米もひと世帯ひと世帯に軽量した米袋を作ってお渡ししています。



↑お弁当は、キュウリとわかめのチョレギドレッシング和えや、メンマとこんにゃくの甘辛煮を入れて、盛りだくさんの中身に。



→作業スペースでお米を分けるボランティアさんたち。

南ランチ
第20回
(6月)

肉団子のケチャップ炒め

ボランティア等 10名
11世帯 53食

カブを農家さんからたくさんいただいたので、急遽メニューを変更。カブと練り物の炒め煮を追加しました。料理好きのボランティアさんたち。薄味かしら?と気にしながら丁寧に調理しています。お弁当は、ボランティアさんと手分けして配達。お届け先の親子と顔の見える関係が生まれています。



姿を見せる。

私たちは、とにかく思い切ってやってみようと活動を始めました。必要とされている家庭に届いている。そう感じてくれた市社協さんが、食糧支援・フードバンク、ボランティアさん、支援を必要としている人に私たちをつなげてくれたことで、ここまで活動が継続できました。そして、私たちの姿を見てくれている地域の方々が新しく支援してくれるようになってきました。そうしたつながりの循環を実感し始めています。私たちの活動は、たくさんのつながりがないとできません。これまでも、これからも、私たちの姿を地域の中で見せ続け、新しいつながりを作っていきたいと考えています。

つながり、広がる。



県央ケータリング協会
子ども食堂に弁当提供
 県央ケータリング協会「たまめし食堂」にキッチンカー（橋田武会長）は9月21日、子ども食堂プロジェクト@やまとが運営するケア（市内鶴岡）の駐車場にテールをを広げて弁当30食を提供。メニューは唐揚げなどのミニコーナーに子どもたち「おいしそう」と笑顔を見せながら手を渡す橋田さん

橋田会長がコロナ禍でイベントに出店できる場が減るなか、「自由に動けるキッチンカーの特性を活かして地域のために何かできないか」と大和市社会福祉協議会（市社協）に相談。市社協が子ども食堂プロジェクトを紹介し共同でスタートさせた。子ども食堂プロジェクト@やまとの詳細はHP (<https://www.tamameshi.org/>)。く。 橋永井さん@06-6502-8026



オンライン版 黒岩知事と県民との対話の広場「コロナ禍における生活困窮者と語る」

司会を続けて3つ目のテーマ「子ども」に関して、大和市内で活動される、市内の子ども食堂、たまめし食堂の運営をしている永井千枝様からお話を伺います。永井千枝さんは、

その動画

46:26 / 1:38:35

04 たまめし食堂+たまふる

「たまめし食堂」は、市内の子ども食堂、たまめし食堂の運営をしている永井千枝様からお話を伺います。永井千枝さんは、

「たまめし食堂」は、市内の子ども食堂、たまめし食堂の運営をしている永井千枝様からお話を伺います。永井千枝さんは、

- 左上) 夕ニュース大和版(2021. 10. 1号) 県央ケータリング協会がキッチンカーでお弁当を作って提供してくれました。
- 左中) 市内の自動車教習所の敷地などをお借りし、食糧支援と衣類の無料配布を行いました。
- 左下) 黒岩知事との対話の広場に参加し、たまめしの現状をお伝えしました。
- 右上) お米を寄付してくれる方の田んぼで、泥んこバレーとBBQを楽しんだ夏休み。
- 右下) 子ども・若者の居場所づくり事例集に活動を取り上げていただきました。



新しい出会いがある。

ただ、行くだけ。ただ、話すだけ。で終わらない
継続的にかかわるからこそ、
時間をかけて感じられることがある。

今、親子で孤立してしまうことが本当に多い。
そこには、孤立しても不思議ではない環境がある。
そうしたことを乗り越えていくことができる力を
もっていない人たち。
そうした人たちは、とてもつながりにくい。
本当につながれない。

つながりにくい人たちと、どうやってつながっていくか。
つながれたときにこそ、新しい出会いがある。

楽しさを感じながら、大変さを分かち合って、
活動を続けています。

「たまには・・・」があることの意味

- 会えば会うほど深い部分が見えてくる。
- いい部分もすごく見えてくる。
- 子どもたちは、いつも同じではない。
関係の中での変化、成長の中での変化があるように思う。
- 子どもたちのゆらぎに寄り沿って行きたい。
- 「●●やりなさい」ではなく、「それができると心地いいよ。」
「楽しいかもな。」ということに気づいてもらいたい。
だから「ここに来ない?」「一緒にやろうよ。」と誘ってみる。
- 子どもや親の気持ちを受け止めたうえで、私たちが大事に
していることを、一緒に過ごす時間の中で伝えていく。
- そのために「たまには・・・」があります。

たま塾 2022. 6～

たまめしが6年前にスタートしてから、
ずっと参加してきた子どもたちも中学生に
なり、受験を迎えています。

去年は、たまめしのスタッフ、ボランティアが
学習支援を行い、一人の女の子が希望す
る高校に合格することができました。

塾に行きたくても、様々な事情で通うことが
できない子どもたちに、高校受験に向けた
支援が必要と考え、塾の講師経験がある
方に協力を依頼し、週に1日、少人数の
「たま塾」を開くことにしました。

2時間勉強に集中できない子、基礎学力か
ら身に着ける必要がある子。参加している
子たちの状況は様々です。



| | | | |
|-------------------------------|--------|-------------|------------|
| これまでの提供食数 | 4,404食 | たまめし食堂・たまたく | 72回(第4日曜日) |
| スタッフ、ボランティア数 | 1,265人 | 南ランチ | 24回(第2日曜日) |
| (2016.7～2022.9までの活動 / すべて延べ数) | | たまふる | 43回(第3火曜日) |